

## 令和6年度第1回碧南市総合教育会議 会議録

1 日時 令和6年5月28日(火) 午後1時から午後1時36分まで

2 場所 碧南市役所4階 庁議室

3 出席者

(1) 碧南市長 小池 友妃子

(2) 教育委員会

委員 岡本 明弘、委員 伊藤 正幸、委員 榊原 京子、教育長 生田 弘幸

(3) 事務局職員

総務部長 山本 政裕、教育部長 山田 昌宏、経営企画課長 杉浦 英樹、

経営企画課主幹 松野 盛高、学校教育課長 森川 和浩、

経営企画課課長補佐 杉浦 宏和、経営企画課政策推進担当係長 井上 貴光

4 欠席者

(1) 教育委員会

委員 大村 幸

5 傍聴者 0人

6 議題

(1) 第2期教育大綱の中間見直しについて

(2) ブラジル人学校の誘致について

(3) 意見交換

6 会議の概要

(1) 市長あいさつ

教育委員の皆様におかれましては、日頃から碧南市の教育を見守り、また、御助言をいただき、誠にありがとうございます。

近年、不登校者の増加は全国的に問題となっておりますが、碧南市の不登校者は非常に少ないと聞いております。また、部活動の地域移行も先進的に進んでおり、多くの児童・生徒が、スポーツや文化活動を行っていると感じています。

これも、教育委員、教育長を始め、教育委員会の関係者の皆様の努力の賜物かと思えます。誰一人取り残さない教育を今後も行えるよう、引き続き御協力をいただきますようお願い申し上げます。

(2) 議題

ア 第2期教育大綱の中間見直しについて

経営企画課主幹が資料1に基づき説明した。

〈意見・質疑なし〉

審議の結果、承認された。

イ ブラジル人学校の誘致について

経営企画課主幹が資料2に基づき説明した。

〈意見・質疑なし〉

審議の結果、承認された。

ウ 意見交換

〈意見・質疑〉

委員 働き方改革で、有給休暇や育児休暇を取りましょう、男性も育児休暇を取りましょうということではありますが、なかなか休暇は取れていないかと思います。余裕を持った労働環境が必要で、対応をしていく必要があるかと思います。碧南市は、スクールアシスタントを導入し、マンパワーを注いでいますが、先生たちがしっかりと子ども達に教育ができるよう今後も環境を作っていただきたいと思います。

教育長 人員不足は、どこの市でも困っています。先生がいないと、授業は自習になるなど、被害を被るのは子どもです。働き方改革は、美しい言葉ですが、どこかにしわ寄せがいきます。碧南市では、65歳を超えたOBの方に依頼し、補充する工夫をしています。また、他市では心の病で多くの先生が休んでいるところもあるそうですが、当市ではそのような教員がいらないということもあり、なんとか欠員がない状態で行えている現状があります。また、中学校教員は、教科の免許がないと授業が行えないということも、人員不足の原因の一つであります。

委員 一つの例として、民間では、65歳の経験者を募集しています。

先生に時間をもっとあげたいと思います。そうすると、教育が充実すると思います。考える時間、準備する時間をデジタルで行うことが必要です。パソコンがあってもウェブ環境がないとか、学校どこでもいい環境で仕事ができるということであれば、先生は時間ができて、

その時間を授業や児童生徒に向けられれば、もっと教育は充実するかと思います。

教 育 長 規模で教員定数は決まっています。他市では定数を増やすために、市費で教員を雇っているケースもあります。市費で多額の人件費が必要です。義務教育は機会均等、どこでも同じ教育が受けられることが重要で、財政力に応じて人員を増やすことはいかかなものかと思っています。碧南市のように支援する人がたくさんいた方が、効果が上がると思っています。

外国人は、いっぽ教室で3か月学んでもらって、日本の教育に馴染んでもらい、学校運営が適切に行えるようになりました。ただ、外国人の比率が増加しており、ブラジル人学校がないと厳しいと感じておりますし、外国人を大事にしたいと思います。

委 員 私の地区でも外国人が増えてきたと感じます。学校も外国の方が増えていますよね。

教 育 長 昔のように外国人がクラスの中でぼつぼつと少数というわけではありません。ブラジルの方が非常に増えていますが、その他の国の方も増えています。

委 員 ブラジル人学校が碧南にあって良かったと思います。

(午後1時36分 閉会)